



特定非営利活動法人

防災士会みやぎ

MIYAGI BOUSAISI ORGANIZATION

Vol.13
2019.8

- 新旧理事長挨拶
- 令和元年度総会と活動体制の報告
- 宮城県防災指導員フォローアップ講習
 - ・フォローアップ講習の意義
 - ・フォローアップ講習の講師を経験して
- トピックス
- 豆知識 * 警戒レベルと避難行動
- 入退会者のお知らせ * 編集後記

写真:平成30年度フォローアップ講習より



防災士のマスコット
サイは「森の消防士」と
言われている動物です。



新理事長就任＊新旧理事長挨拶

➤ 理事長就任の挨拶

理事長 児玉敏幸



去る6月8日（金）開催の「令和元年度定時総会」での役員改選及びその後の理事会に於いて前任菊地正衛理事長の後を継ぎ、新理事長に就任させて頂く事となりました。

理事長に推薦された折には、大変な大役で有る事や私自身現在現役の会社員で有る事等考え辞退との考えを持って居りましたが、役員の皆様方から一丸となり協力するとの力強い応援を頂いた事によりお引き受けさせて頂く事としました。

まず初めに、前任理事長の菊地正衛様には副理事長時代から平成27年理事長就任と長い間本会の運営指導と細部に渡る業務体系の確立等多大な貢献をして頂いた事に、深い感謝と敬意を表します。

さて、新しい時代「令和」が始まりました。

「定時総会：第3号議案 令和元年度事業計画(案)承認」時に組織体制を新たに検討中との発言をさせて頂いた通り、本年度から新たに組織体制と執行部役員の役割を改めて、本会活動力の向上と会員の皆様のスキルアップ及び一人でも多くの会員の皆様に活動への参加協力を頂ける様に執行部一同活動してまいります。本年度早くも大崎市・石巻市・白石市等から「講師派遣依頼等」や仙台管区気象台様からイベントへの協力等多くの依頼が入って来て居りますし、昨年度宮城県より受託した「宮城県防災指導員フォローアップ講習」を本年度も受託し、併せて、同じく宮城県より「防災アドバイザー派遣委託契約」も受託、大崎市とも「防災指導員派遣委託契約」を締結しました。間違いなく昨年度より活動の幅と回数も増加しますので、現時点での講師経験者15名と補助者等協力者総数35名では支障が生じる物と確信しているところです。

本会への信頼度・知名度・委託依頼の向上や運営には、会員の皆様のご協力がより一層必要となる事は必須です。

「助けられる人より助ける人へ」の理念と私の理念「教えられる人より教える人へ」との実現のためにも、本会の発展の為に会員の皆様のご協力を改めてお願い申し上げます。

➤ 理事長退任の挨拶

前理事長 菊地正衛

6月8日開催の定時総会を持ちまして理事長を退任いたしました。会員の皆様には防災訓練や展示会等で講師・補助者等として参加協力を頂きまして大変ありがとうございます。

平成25年に理事、26年に副理事長、27年に理事長に就任し2期4年に渡り理事長を務めてまいりました。役員に就任した当初は様々な課題が山積しチャレンジの連続でしたが現在は会員数も120名を超えるまでに成長し、宮城県や仙台市、仙台管区気象台など関係機関とも大変良好な関係を構築することができたと思えます。

特に大崎市様との防災訓練講師の派遣契約に始まり、昨年は宮城県様の防災指導員フォローアップ講習を受託し県内17カ所で講習会を開催しました。今年度は防災指導員フォローアップ講習に加え、宮城県地域防災アドバイザー派遣契約も締結することができました。多くの市町村等から講師派遣の依頼を頂いております。

また、幼児向け減災絵本「リオン」は第4刷を行い、トータル3,000冊と宮城県内のみならず全国の皆様にご利用頂いております。制作に関わった皆様に感謝いたします。

さらに「みやぎ防災減災円卓会議」の一員として東日本大震災の教訓を後世に伝えるために官庁・大学・メディア等の方々と一緒になって地域防災の意見提起を行って来ました。

今後の課題は、自主防災組織等に対する「地域防災計画」の作成支援を加速しなければなりません。新体制のもと防災士会みやぎが地域の「安全で安心して暮らせるまちづくり」に一層貢献できることを願い、一会員として参加して参ります。

ご協力ありがとうございました。



総会と令和元年度からの活動体制報告

➤ 令和元年度定時総会が開催される

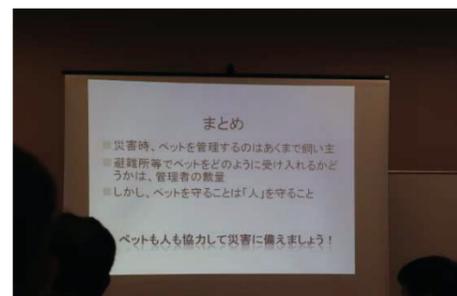
6月8日（土）13時30分より、仙台市宮城野区榴ヶ岡「みやぎNPOプラザ」におきまして、令和最初の定時総会が開催されました。

事務局より、開催条件の定則数

☆会員数：118 ☆出席者数：87（委任等含む）

の報告により、開催条件を満たしており、高橋健一議長の進行の元、滞りなく議事が進み、第1号議案から第6号議案まで全議案、満場のご承認を頂き、無事終了しました。

終了に際し、新役員の自己紹介があり、新年度の活動に決意を新たにいたしました。

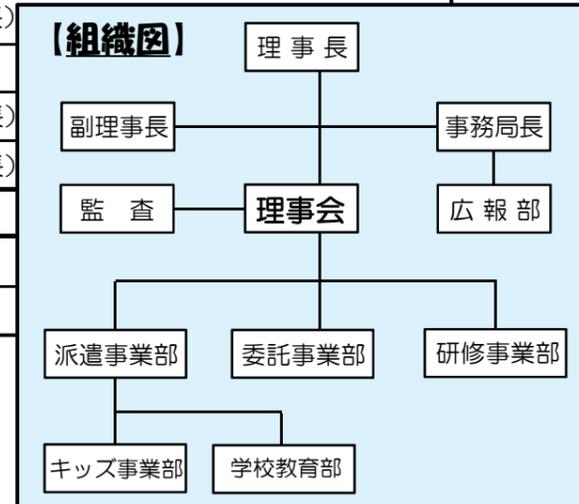


引き続き、第2部「研修会」といたしまして、「仙台市動物管理センター（アニバル）主任：新木由美様」から「大規模災害におけるペット避難の現状と課題について」のご講演を頂きました。災害時のペットとの関わりや避難の際のペットの取扱い等、本当に参考になるご講演を頂戴いたしました。

最後に、場を移し、懇親会となり、30名を超える参加を頂き、盛況裏に令和元年度定時総会は終了しました。

➤ 担当役職と組織図

理 事		
氏 名	過去役職等	新 年 度 役 職
児 玉 敏 幸	現副理事長	理事長（総括兼ホームページ担当）
高 橋 健 一	現理事	副理事長（兼派遣事業部学校教育部長・キッズ事業部副部長）
若 生 彩	現理事	副理事長（兼委託事業部長・兼広報部副部長）
菅 原 純 一	現事務局長	事務局長（総合窓口・事務責任者）
鈴 木 博 行	現理事	理事（派遣事業部長）
繁 野 み ど り	現理事	理事（研修事業部長・兼広報部副部長）
佐 藤 亜 矢 子	現理事	理事（派遣事業部キッズ事業部長・学校教育部副部長）
久 光 保 夫	郵便局長会	理事（派遣事業部副部長）
門 脇 恒 男	元理事	理事（事務局広報部長）
佐 藤 和 弘	元理事	理事（委託事業部副部長）
阿 部 馨	新任	理事（研修事業部副部長）
監 事（監 査）		
渡 邊 義 春	現監事	監事
須 合 孝 雄	現監事	監事





宮城県受託事業 * 宮城県防災指導員 フォローアップ講習開催される①

➤ 宮城県防災指導員フォローアップ研修の意義 前理事長 菊地正衛

平成30年度は当防災士会みやぎにとって大変意義深い1年となりました。念願だった宮城県から仕事を頂くことができました。「平成30年度宮城県防災指導員フォローアップ講習」を受託できたことです。

しかし、ここからが産みの苦しみです。過去に当会が手掛けたフォローアップ講習に参加した経験からテキストはそのまま使えると考えていました。ところが「これまでのテキストは使わない。内容を一新しから作り直す」とのことでした。

これまで当会の活動にはなかった避難行動要支援者支援や車いすの扱い方など社会福祉協議会や民生委員の方々の領域ではないのかと思う内容で、どのようにまとめてよいのか見当がつかせませんでした。役員会で話をしていると理事の繁野みどりさんが民生委員でその分野のプロだという事がわかり少し安心しました。話をしていく中で会員の中に社会福祉協議会で活躍していた桑野知美さんがいることがわかりテキスト検討メンバーに参加してもらいました。

「避難所運営マニュアル作成コース」は、山下中学校で実体験をしている高橋健一理事、「防災マップ作成コース」はその道のプロ、阿部馨さん。「避難行動要支援者支援体制づくりコース」は桑野知美さんと繁野みどりさん、「DIG（災害図上訓練）」と「災害に対する基礎知識・・・」は菊地が担当しました。短期間でのテキスト作成で一字一句を正確に表記することのチェックが入り大変でした。

また事例集作りでは、世の中の防災活動、避難行動要支援者支援をどのような取り組みをしているのか全く無知であったと痛感しました。もっと視野を広めて世の中の支援の動きを知る必要性を感じた次第です。

昨年度は県内17ヶ所で開催、受講者数517名。当会の講師と補助者は延べ119名、更に開催市町村との事前ミーティングには延べ37名と多くの会員の方々にご協力を頂きました。参加ご支援を頂きました皆様に感謝申し上げます。

最後に注意すべき事項です。テキスト作成や事例集作成では特に著作権について苦勞をしました。私たちの活動の中でも特に注意を要する部分です。普段何気なく引用している文章や絵、グラフ、画像など各方面に使用許諾を取りました。TV画面の引用も許諾を取りました。国土交通省等のホームページにも引用する場合の注意点や表示方法等が細かく記載されていますので注意を要します。

今年度も宮城県防災指導員フォローアップ講習を受託しました。それに加え「宮城県地域実践アドバイザー派遣業務委託」も受託しましたので、会員皆様の参加をお願い致します。参加することによりスキルをより深めることができます。ご協力ありがとうございました。



宮城県受託事業 * 宮城県防災指導員 フォローアップ講習開催される②

➤ フォローアップ研修の講師を経験して 副理事長 高橋健一

東日本大震災時、職場の山元町立山下中学校が避難所となり運営の手伝いをさせていただいた経験に基づき、フォローアップ講習で「避難所運営マニュアル作成コース」の説明をさせて頂きました。

その中で避難所とは、単に寝食をするだけの場ではなく、沢山のものを失った中でも将来避難所を出て、仮設住宅や自宅再建、災害復興住宅へと移り住んでいくときにも遅く生きていく心を持つための準備をする施設と考えています。また避難所は、地域すべての被災者への支援の拠点でもあります。

そのためには、実際に避難所が開設されたときに円滑に運営できるための「避難所運営マニュアル」が大切になってきます。

その中で、避難所での役割分担、避難所のレイアウト、避難所での基本的ルールなどが事前に決められ、避難所に備えてある備蓄品が分かれば、スムーズに開設できるものと思われれます。



避難所運営マニュアルの内容は自治体によってルールや進め方が若干異なります。各自治体の担当者と何度かメールでやり取りし、各種資料を提供していただき、それを基に防災指導員の方々が行政をはじめとする関係機関と協力し、地域に即した生きたマニュアルを作成するための進め方などをわかりやすく説明できるよう気をつけました。

是非皆さんのお住まいの地区の指定避難所の避難所運営マニュアルや備蓄品をもう一度確認してみましょう。



➤ フォローアップ研修の講師を経験して 防災士 桑野知美

内容を作る際に特に2つの事に気を付けました。

ひとつは、避難行動要支援者対策を、地域づくりの一環として説明することです。多くの自治体で、防災指導員は町内会長や行政区長が中心でした。避難行動要支援者は高齢者が多く、自治会などの地域運営組織が今後さらに取り組んでいかなければならない課題と繋がる部分が多いため、普段の地域づくりの延長上に避難行動要支援者（高齢者や障がい者対策）があると考えてもらえるようにしたつもりです。

もうひとつは、各自治体の動きに合わせた内容にすることです。町内会制度か行政区制度かによって、地域と行政との距離感が変わります。また避難行動要支援者対策の内容は自治体に任されているため、市町によって決め事や進め方が違います。各自治体の担当者と何度かメールでやりとりし、課題や目標、各種データの提供をしてもらいました。防災指導員の方々が行政をはじめとする関係機関と協力しやすくなるよう、それぞれの地域の現状や進め方をわかりやすく説明できるように気を付けました。





〔出典：政府広報オンライン・気象庁ホームページ〕

➤ 防災士会みやぎ「公開セミナー」開催

前副理事長 黒田典子

3月2日、仙台市戦災復興記念館におきまして、2018年度3回目の研修セミナーを開催いたしました。

防災士会みやぎ公開セミナーとして、会員を含め65名が参加いたしました。

タイトルは、「備えの花を咲かせる伝え方」。講演者は、東日本大震災、熊本地震での被災体験を持ち、歌う防災士として、積極的に活躍中の熊本在住 柳原志保氏。防災士資格を取ったばかりの中学二年生、息子の拓巳くんとの親子登壇を頂きました。

二度の被災体験から自助の視点を分かりやすく解説し、日常生活に役立つ防災対策の工夫や、防災グッズ（新聞スリッパ）実演など、興味深い講演を頂きました。最後に「花は咲く」を歌い上げ、新聞、ラジオにも取り上げられ、会の活動として大きくPRして頂きました。

実施役員のみならず、広報やチラシ作成、受付など一般会員の協力あつての開催に心から感謝申し上げます。



➤ 会員紹介

佐藤 大 防災士

◇今回、ご紹介いたします防災士は「佐藤 大」さんです。佐藤防災士は、現在、「東北医科薬科大学」で、防災の中心的な立場でご活躍中でございます。

〔本人のコメント〕

元は情報ネットワークのエンジニアで、災害時の情報、資機材の支援やオンライン情報支援等を行うIT DARTというグループで活動しています。また、ひょんなことから10年前にDMAT隊員となり、病院の防災訓練の企画に関わるようになりました。一昨年から東北医科薬科大学病院で災害対応を本職にしています。

防災士歴はまだ2年弱ですが、皆様とともに活動していきたいと考えています。よろしくご指導ください。



➤ 平成31年3月から運用が始まった「警戒レベル」

「避難勧告等に関するガイドライン」（内閣府（防災担当））が平成31年3月に改定され、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示され、この方針に沿って自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて、住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなりました。

「警戒レベル4」で全員避難です！

集中豪雨や台風等によって、水害や土砂災害等の災害が発生するおそれがある時、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をしますか？

防災情報の意味が直感的に理解でき、それぞれの状況に応じて避難できるよう、これからは災害発生の危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

◆警戒レベルを用いた防災情報とは？

災害発生の危険度と、とるべき避難行動を住民が直感的に理解するための情報です。

日本では毎年のように、大雨や台風等による洪水や土砂災害、高潮などが発生し、多くの被害がでています。

平成30年7月豪雨では200名を超える死者・行方不明者が発生するなど、各地で甚大な被害が発生しました。気象庁から注意報や警報、市町村から避難勧告や避難指示（緊急）など様々な情報が発信されましたが、受け手である住民に正しく理解されていたかなど、様々な課題がありました。

こうしたことを踏まえ、住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようにするため、避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝える事となりました。

◆5段階の警戒レベル

☆警戒レベル1：災害への心構えを高める

災害発生の危険性はまだ低い段階ですが、気象庁から警戒レベル1「早期注意情報」が発表された場合には最新の防災気象情報などに留意するなど、災害への心構えを高めてください。早期注意情報は気象庁のページで確認することができます。

☆警戒レベル2：ハザードマップなどで避難行動を確認

気象庁から警戒レベル2「大雨注意報」や「洪水注意報」が発表され、災害発生に対する注意が高まってきた段階です。

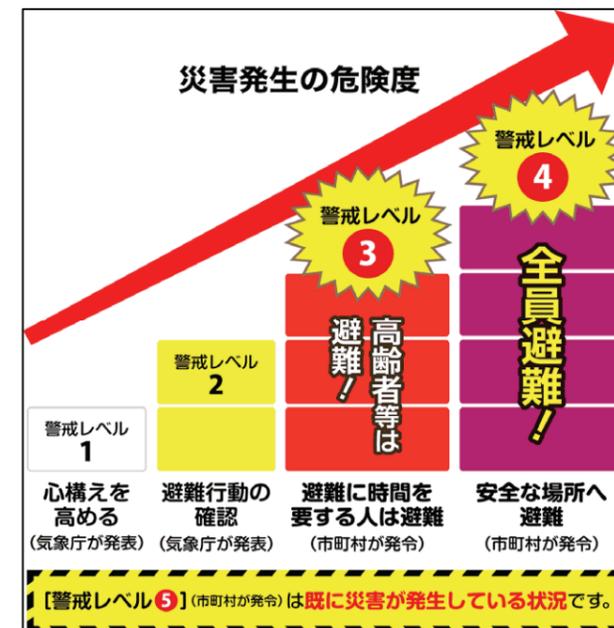
ハザードマップで災害の危険性のある区域や避難場所、避難経路、避難のタイミングの再確認など、避難に備え、自らの避難行動を確認しておきましょう。

大雨注意報や洪水注意報は気象庁のページで確認することができます。

☆警戒レベル3：高齢者や要介護者等が避難

市町村から警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始情報」が発令された段階です。避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方、避難を支援する方などは安全な場所へ避難しましょう。また、土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方も、準備が整い次第、この段階で避難することが強く望まれます。また、それ以外の方もいつでも避難できるように準備をしましょう。

避難情報の発令状況は各自自治体やNHKのページ等でも確認できます。



☆警戒レベル4：“対象地域住民の全員避難”

市町村から警戒レベル4「避難勧告」や「避難指示（緊急）」が発令された段階です。対象地域の方は全員速やかに避難してください。災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋への移動等の緊急避難を行ってください。

また、避難指示（緊急）は必ずしも発令されるものではなく、地域の状況に応じて、緊急的に、または重ねて避難を促す場合に発令されるものですので、避難勧告が発令され次第避難をしてください。

☆警戒レベル5：“命を守るための最善の行動を”

市町村から警戒レベル5「災害発生情報」が発令された段階です。

すでに災害が発生している状況ですので、命を守る最善の行動をとってください。警戒レベル5になってからでは、安全な避難が難しい場合があります。地域の皆さんで声を掛け合って、また、空振りをおそれずに、レベル3、レベル4の段階で安全・確実に避難を終わましよう。

入退会者のお知らせ

◆会報第12号発行以降の入退会者の状況は以下のとおりです。

◆令和元年6月8日現在の会員数 ◇ 正会員：118名 ◇ 賛助会員：2団体

□入会者 《 19名 》

□退会者 《 1名 》



編集後記

6年の空白は、大きいものがありました。本号を仰せつかり、どのように紙面構成すれば良いのか、悩みました・・・！

ご満足頂ける内容で無いことは確かです。

警戒レベルの導入等、気象現象の異常さが危惧されます。

次号に向け、空白期間をカバーできるよう精進します。〔K〕

週末小学校で防災お泊りキャンプがありました。

真っ暗な校舎内を歩いて、灯りのありがたさを実感。電気の無い生活・夏バージョンを想像する良い機会となりました。日々の「当たり前」に感謝です。

〔W〕



夏休みに入ってから地域の児童館で1～3年生にリオンを読んできました。

自然の恵みと脅威を対比して話すたびに子どもたちの間から共感と驚きの声が聞こえます。

しっかりと防災力が身につくようお願いながら読みました。



発行 特定非営利活動法人 防災士会みやぎ

■ 発行者 理事長 児玉敏幸
広報部 門脇恒男・若生 彩・繁野みど里



連絡先 080-1821-0335

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPO プラザ内 No.22



情報・ご意見はメールでお願いします。 jimukyoku@bousaishi-miyagi.org